

令和元年度事業報告

(1) 埋蔵文化財発掘調査事業

令和元年度の発掘調査事業は、20事業35遺跡について実施した。内訳は、国土交通省の八ッ場ダム建設工事関連9遺跡、渋川西バイパス（国道17号バイパス）建設工事関連1遺跡、前橋笠懸道路（国道50号バイパス）建設工事関連2遺跡、綾戸バイパス建設工事関連1遺跡の計4事業、13遺跡の調査を実施した。県公共事業関連では広域幹線の西毛広域幹線道路関連や上信自動車道吾妻西バイパス建設関連事業を含め16事業22遺跡の調査を実施した。

八ッ場ダム調査事務所管内では、最終年として10月1日から開始される湛水試験開始までの間で9遺跡の調査を完了させた。調査はダム骨材運搬用ベルトコンベア用地や車両通行用として利用されていた旧国道部分など、これまで調査実施に至らなかった用地の調査が主であった。調査体制は、水没地内調査で導入した共同企業体（JV）による発掘調査を継続させ、吾妻川右岸部と左岸部を2工区に分割して実施した。左岸部の川原畑地区では、西宮遺跡、東宮遺跡、石畑遺跡、石畑Ⅰ岩陰の調査を実施した。西宮遺跡や東宮遺跡は継続調査であり、天明泥流下の家々や幹線道路などを検出した。東宮遺跡では、その他に縄文時代の集落を検出した。ダム堤体直近の石畑Ⅰ岩陰の調査では、線路保護のための擁壁が岩陰前面中央に築かれ、その工事の際に壊されていることが判明した。石畑遺跡では斜面地に天明泥流が確認でき、直下から畑を検出した。吾妻川右岸部では、横壁地区の工事関係者施設跡地で西久保Ⅳ遺跡、林地区では旧国道下の下田遺跡、川原湯地区のベルトコンベア下の川原湯勝沼遺跡、大規模な縄文時代の集落を検出した石川原遺跡、JR吾妻線の旧川原湯温泉駅周辺では下湯原遺跡などの調査を実施した。下田遺跡では天明泥流下から屋敷や畑、道などを検出し、下層から平安時代の竪穴建物も確認した。石川原遺跡は、最終段階として縄文時代後期～晩期の配石遺構群の調査を実施した。下湯原遺跡では天明泥流下の畑や下層から平安時代の竪穴建物を検出した。その他の国土交通省関連では、渋川西バイパス金井下新田遺跡の継続調査を実施した。調査では、Hr-FP上下面、Hr-FA(火砕流含む)上面・中面・下面、下層調査など8面の調査を行い、中近世から縄文時代までの多くの遺構・遺物を検出した。綾戸バイパスでは、棚下込山遺跡の調査を実施した。遺跡は、利根川左岸の斜面地に立地し、古墳時代、縄文時代の土坑群を検出した。前橋笠懸道路（国道50号バイパス）では、多田山東遺跡と柳田遺跡の2遺跡の調査を実施した。多田山東遺跡では、古墳時代から奈良平安時代の竪穴建物を66棟検出した。その南方の柳田遺跡は、古墳時代から奈良平安時代の竪穴建物の他に先年度と同様に旧石器時代の石器を検出した。

県土整備部関連事業では、上信自動車道吾妻西バイパス関連の調査で根小屋城跡と松谷松下2遺跡の調査を実施した。根小屋城跡は戦国時代の城跡で、先年度からの継続調査を実施した。斜面部の調査が中心であり、小規模な曲輪や竪堀の調査を行った。松谷松下2遺跡は吾妻川左岸の段丘崖上に在り、天明泥流の直下では畑を検出した。また畑面を掘り返し復旧した復旧坑群も検出している。天明泥流下畑の下層では、中世の館と考えられる2重に巡る堀とピット、掘立柱建物を検出した。

上信自動車道吾妻東バイパスに接続する植栗伊勢線の事業も開始され、吾妻川右岸部の段丘面崖上に位置する植栗中原遺跡の調査が行われた。調査では縄文時代草創期の土器片や石器が出土している。またHr-FAの降灰も確認できた。

その他県公共事業に伴う発掘調査では、前橋市0891遺跡は夏季・冬季の2回に分割して調査を実施した。冬季は面積が小さく、1人1ヶ月の調査を実施した。同じく前畑K遺跡も狭小であることから1人1ヶ月現場となった。また、浜町遺跡や比沙門遺跡は試掘結果で遺構が希薄であることから小規模調査対応となった。高崎市綿貫町から岩鼻町内を南北に走る前橋長瀬線の拡幅事業では、綿貫41遺跡、岩鼻47-1遺跡、岩鼻47-3遺跡、47A03遺跡、47H03遺跡の5遺跡にまたがり調査を行った。調査ではAs-Bを掘り込む溝、下層から竪穴建物などが検出されている。前橋市0635・0946遺跡では、As-B下水田の調査を行い、その下層からFA泥流、As-C混土が確認でき古墳時代の水田の痕跡が認められた。桐生新町水路跡では、桐生新町伝統的建造物群保存地区の水路跡の発掘調査を実施した。陣谷遺跡は昨年度に継続し隣地の発掘調査を行った。調査地は低地部分と台地部分に分かれた。低地部分は先年度からの継続調査を行い、As-B降灰以前は大量の洪水堆積物で覆われていた。台地部は古墳時代の竪穴建物が密集し、複数単位の重複で埋め尽くされていた。下谷戸B遺跡は渡良瀬川左岸の崖上にあり、地表下3m近く下がっての遺構確認面であった。表土下の大半は818年の弘仁大地震による山体崩落土の可能性が考えられる。遺構は縄文時代の竪穴建物を検出し、周囲から縄文時代草創期の土器破片や尖頭器を含む1,000点を超える剥片石器などが出土している。調査最終段階で石器剥片が出土する地点が確認でき、令和2年度にその範囲約100㎡の調査を行う調整が行われた。

ア 幹線交通関連埋蔵文化財発掘調査

(単位：千円)

区分	遺跡名	所在地	面積 m ²	受託費	委託者
ハッ場ダム	1 下田遺跡他(石川原遺跡)	長野原町林(川原湯)	1,562.0	332,115	国土交通省
	2 西久保IV遺跡	長野原町横壁	1,887.0		
	3 川原湯勝沼遺跡	長野原町川原湯	2,644.0		
	4 西宮遺跡	長野原町川原畑	8,280.0		
	5 東宮遺跡	長野原町川原畑	4,080.0		
	6 下湯原遺跡	長野原町川原湯	9,483.0		
	7 石畑遺跡	長野原町川原畑	4,330.0		
	8 石畑I岩陰	長野原町川原畑	1,765.0		
	小計		34,031.0	332,115	
渋川西B P	9 金井下新田遺跡	渋川市金井	1,495.0	51,344	
	小計		1,495.0	51,344	
前笠道路	10 柳田遺跡・多田山東遺跡	伊勢崎市赤堀今井町	22,781.0	190,243	
	小計		22,781.0	190,243	
綾戸B P	11 棚下込山遺跡	渋川市赤城町	2,310.0	43,635	
	小計		2,310.0	43,635	
	国土交通省計		60,617.0	617,337	
	幹線交通関連計		60,617.0	617,337	

イ 公共開発関連埋蔵文化財発掘調査

(単位：千円)

区分	遺跡名	所在地	面積 m ²	受託費	委託者
県公共開発関連	12 綿貫41遺跡・岩鼻47-3遺跡他	高崎市綿貫長他	3,333.6	28,816	県土整備部
	13 浜町遺跡	太田市本町	954.7	13,353	
	14 沼田遺跡	伊勢崎市北千木町	2,662.0	28,016	
	15 根小屋城跡	東吾妻町三島	3,921.0	100,887	
	16 松谷松下2遺跡	東吾妻町松谷	3,890.0		
	17 前橋市0891遺跡	前橋市粕川町深津	1,384.9	37,922	
	18 前橋市0891遺跡(2)	前橋市粕川町深津	717.8		
	19 本郷満行原遺跡	高崎市本郷町	4,926.0	76,371	
	20 高浜天狗原遺跡	高崎市高浜町	761.8	63,770	
	21 下里見天神前遺跡	高崎市下里見町	3,160.1		
	22 下谷戸B遺跡	みどり市大間々町	1,520.0	26,184	
	23 桐生新町水路跡	桐生市本町	104.9	23,977	
	24 前畑K遺跡	桐生市新里町野	439.0	7,689	
	25 比沙門遺跡	太田市古戸町	2,555.7	14,470	
	26 植栗中原遺跡2	東吾妻町植栗	3,364.0	47,685	
	27 陣谷遺跡	館林市楠町	4,815.5	104,540	
	28 前橋市0635遺跡・前橋市0946遺跡	前橋市下佐烏町他	5,677.0	51,213	
	29 安中市201遺跡	安中市下秋間	442.0	25,301	
		小計		44,630.0	
	公共開発関連計		44,630.0	650,194	
	発掘調査事業費合計		105,247.0	1,267,531	

(2) 埋蔵文化財発掘調査整理事業

令和元年度の整理事業は29遺跡について実施した。内訳は八ッ場ダム関連14遺跡、公共開発関連15遺跡である。このうち八ッ場ダム関連5冊、公共開発関連7冊の計12冊の報告書を刊行した。

八ッ場ダム関連では、『下田遺跡(3)』、『下湯原遺跡(2)』、『三平Ⅰ遺跡(2)』、『林宮原遺跡(2)・林中原Ⅰ遺跡(2)・中棚Ⅱ遺跡(2)』、『川原湯勝沼遺跡(3)』の5冊を刊行した。下田遺跡は(1)と(2)が既刊で、今回の報告で古代～近世までの遺跡全域の報告が完了した。林宮原遺跡と林中原Ⅰ遺跡は、前年度に整理を実施し、今年度に中棚Ⅱ遺跡と合冊で報告したものである。中棚Ⅱ遺跡は、すでに(1)が刊行済みであり、天明泥流下の畑を主体に報告したが、今回の報告では縄文時代の水場や古代の遺構が注目される。下湯原遺跡と川原湯勝沼遺跡は、天明泥流下の畑が主体の報告であり、三平Ⅰ遺跡は縄文時代と古代の遺構が報告されている。

公共関連では、榛名南麓2地区農村漁村地域整備関連の『中室田岩城遺跡』、西毛広域幹線道路関連の『大島田Ⅱ遺跡 沼田遺跡』、『下芝内出畑遺跡 和田山天神前2遺跡』、藤岡本庄線の『中栗須邸前遺跡(藤岡市22包蔵地)』、上信自動車道金井バイパスの『金井東裏遺跡(11区)』、上信自動車道吾妻西バイパスの『四戸遺跡』、県立学校増築等の『条里制水田想定地』の7冊を刊行した。

榛名南麓2地区農村漁村地域整備関連の中室田岩城遺跡では、縄文時代の竪穴建物だけでなく、高崎市域では出土例の少ない弥生時代前期の土器片がまとまって出土したことが注目された。西毛広域幹線道路関連の大島田Ⅱ遺跡と沼田遺跡では、天明三年の浅間山噴火に伴う軽石及び泥流被災の耕地の復旧坑が報告されており、安中市地域における災害復旧の様子が明らかになった。安中市334遺跡の整理は、遺構図の修正や土器の接合・復元を主体的に実施した。藤岡本庄線の中栗須邸前遺跡では、古代緑野郡の郡衙に関連する可能性のある遺構・遺物が報告されており、地域の特徴を示す貴重な遺構・遺物を提示することとなった。下芝内出畑遺跡では、奈良・平安時代の集落と製鉄炉が報告されており、特に鉄生産については分析結果から材料が遺跡周辺で調達されていたことが判明した。また、和田山天神前2遺跡では、埴輪の出土が報告されており、遺跡周辺に古墳の存在が想定された。

上信自動車道金井バイパス関連では、金井東裏遺跡11区の報告書が刊行された。平成24年の「甲を着た古墳人」の発見で保存された金井東裏遺跡4・9区の北側にあたるが、6世紀初頭の遺構はなく弥生時代の遺構が報告されている。また、隣接し囲い状遺構等の発見で話題となった金井下新田遺跡については、遺構図の編集、土器の実測や石器の実測作業が順次進められた。

上信自動車道吾妻西バイパス関連では、四戸遺跡の報告書が刊行され、吾妻地域における古代の大集落の様相が明らかになってきた。特に竪穴建物内から出土したほぼ完形の奈良三彩の短頸壺の存在は、これまでにない出土状況を示すものであり、遺跡の性格および地域の歴史を解明していく上で極めて重要な報告となった。また、前年度から継続している唐堀遺跡の整理では、遺構図の編集や大量に出土した土器や石器の接合・復元や実測などの作業を主体的に進めた。

コンベンション関連の高崎競馬場遺跡では、前年度に引き続き弥生時代の遺構図編集や弥生土器の接合・復元、石器の分類・実測と古代から近世の遺構・遺物の整理作業を継続した。

ア 幹線交通関連埋蔵文化財調査整理

(単位：千円)

区分	遺 跡 名	所 在 地	報告書名	受 託 費	委託者
八ッ場ダム	1 尾坂遺跡	長野原町長野原		212,089	国 土 交 通 省
	2 町遺跡	長野原町長野原			
	3 東原Ⅱ遺跡	長野原町林			
	4 横壁中村遺跡	長野原町横壁			
	5 下田遺跡	長野原町林	第665集 下田遺跡(3)		
	6 中棚Ⅱ遺跡	長野原町林	第667集 林宮原遺跡(2) 林中原Ⅰ遺跡(2) 中棚Ⅱ遺跡(2)		
	7 石川原遺跡	長野原町川原湯			
	8 川原湯勝沼遺跡	長野原町川原湯	第658集 川原湯勝沼遺跡(3)		
	9 下湯原遺跡	長野原町川原湯	第666集 下湯原遺跡(2)		
	10 西宮遺跡	長野原町川原畑			
	11 東宮遺跡	長野原町川原畑			
	12 三平Ⅰ遺跡	長野原町川原畑	第664集 三平Ⅰ遺跡(2)		
	13 石畑遺跡	長野原町川原畑			
	14 二社平遺跡	長野原町川原畑			
	小 計		5 冊	212,089	
	幹線交通関連計		5 冊	212,089	

イ 公共開発関連埋蔵文化財調査整理

(単位：千円)

区分	遺 跡 名	所 在 地	報告書名	受 託 費	委託者
県公共開発関連	15 前橋市0107遺跡	前橋市池端町		5,595	県土整備部
	16 下芝内出畑遺跡・和田山天神前2遺跡	高崎市箕郷町下芝他	第660集 下芝内出畑遺跡・和田山天神前2遺跡	2,504	
	17 中室田岩城遺跡	高崎市中室田町	第659集 中室田岩城遺跡	8,861	
	18 金井下新田遺跡	渋川市金井		61,709	
	19 金井東裏遺跡	渋川市金井	第661集 金井東裏遺跡(11区他)		
	20 藤岡市22包蔵地	藤岡市中栗須	第663集 中栗須耶前遺跡(22包蔵地)	17,908	
	21 富岡市T007遺跡	富岡市後賀		3,808	
	22 大島田Ⅱ・沼田遺跡	安中市下秋間	第657集 大島田Ⅱ遺跡 沼田遺跡	26,877	
	23 安中市334遺跡	安中市安中			
	24 唐堀遺跡	東吾妻町三島		142,048	
	25 四戸遺跡	東吾妻町三島	第668集 四戸遺跡		
	26 四戸の古墳群	東吾妻町三島			
	27 唐堀C遺跡	東吾妻町三島			
		小 計		6 冊	
	28 高崎競馬場遺跡	高崎市岩押町		51,577	産業経済部
	小 計		0 冊	51,577	
	29 条里制水田想定地	太田市藤阿久町	第662集 条里制水田想定地	3,014	(教)管理課
	小 計		1 冊	3,014	
	公共開発関連計		7 冊	323,901	
	整理事業費合計		12 冊	535,990	

(3) 普及啓発事業

令和元年度は、県の委託事業として発掘情報館最新情報展や埋蔵文化財専門講座、夏休み親子宿題教室、出土遺物保存管理業務などを実施した。令和元年度の発掘情報館来館者数は、11,320人を数え、うち日曜開館の来館者は3,380人であった。

受託事業として、夏休み親子宿題教室が7月21日～8月15日にわたり実施され、連日多くの来館者を迎えて盛況に行われた。なお、期間中の来場者は3,746人であった。ググっとぐんまプレデスティネーション企画では6月2日(日)に開催された群馬古墳フェスタ2019の体験・展示コーナーとして、前橋市の日本キャンパック大室公園を会場に、かんたん円筒埴輪作りとカラー粘土のまが玉ネックレス作りを実施し、好評を得た。

自主事業では、7月13日(土)に、前橋テルサホールを会場に「古墳人現る！金井東裏遺跡の奇跡」と題したぐんま考古学講座を開催し、283人の入場者が当事業団職員2名の発表と明治大学准教授若狭徹先生による「金井東裏遺跡から読み解く東国古墳時代の実像」の講演を熱心に聴講した。今年度は、隔年開催の公開普及デー年度にあたり、「見る！知る！触れる！」をテーマとして10月5日(土)に各種体験やバックヤードツアーを実施し、363名が来場した。また、埋蔵文化財講座として「ぐんま発掘玉手箱シリーズ6」5講座を実施した。体験学習を主とした事業としては、8月より土器・土偶をつくる 焼く(野焼き体験)、12月より「大人のための冬の古代体験教室」、3月下旬より「春の勾玉まつり」をそれぞれ計画した。しかし、新型コロナウイルス感染症対策により、2月28日から団体見学と体験学習を休止した。これにより、「大人のための冬の古代体験」中の「銅鏡レプリカ」1回と「春の勾玉まつり」を中止した。また、新型コロナウイルス感染症の追加対策として3月8日(日)以降当面の間、発掘情報館を臨時休館とした。なお、休館期間においても資料利用と資料借用については通常どおり対応した。

ア 委託事業(委託者：県教育委員会)

(ア) 普及活動等 受託費：17,752千円

① 展示普及(展示普及一般・普及啓発嘱託員設置)
普及啓発活動のための嘱託職員1名を配置した。

② 最新情報展・教養講座

事項	期間	場所	参加者	概要・テーマ
最新情報展		発掘情報館 資料展示室		遺跡の発掘・整理成果を展示公開
第1期展示	令和元年5月26日(日) ～令和元年10月20日(日)		7,870人	「ハッ場の縄文時代」
第2期展示	令和元年11月10日(日) ～令和2年4月12日(日) (令和2年3月8日(日)～令和 2年4月16日(木)新型コロナ 感染症対策で臨時休館)		1,369人	「天明泥流に被災した村」

事項	期間	場所	参加者	概要・テーマ
第1期講演会	令和元年6月23日(日) 13:00～15:00	発掘情報館 研修室	40人	「ハッ場の縄文時代」 講師：藤巻幸男(事業団職員)
第2期講演会	令和2年3月1日(日) 13:00～15:00 (新型コロナ感染症対策 で中止)		中止	「天明泥流に被災した村」 講師：中沢悟(事業団職員)

③埋蔵文化財専門講座

事 項	期 間	場 所	参加者	概 要・テーマ
埋蔵文化財 専門講座	令和元年 9月3日(火) ～9月5日(木)	発掘情報館 本館第2資料室	30人	市町村教育委員会の文化財担当者を対象とした考古学、埋蔵文化財の基礎知識や最新の研究成果を習得する講座 「授業に活かすぐんまの遺跡」埋蔵文化財の調査成果を学校の歴史学習や地域学習等に活用するための講座
埋蔵文化財 行政コース	9月10日(火) ～9月12日(木)	接合・復元実習 調査研究館1F		
教員コース	令和元年 8月6日(火)～8月8日(木)		8人	

④夏休み親子宿題教室

事 項	期 間	場 所	参加者	概 要・テーマ
夏休み親子 宿題教室	令和元年7月21日(日) ～8月15日(木)	発掘情報館	3,746人	夏休み期間中に小・中学生を中心に土器作りや勾玉作りなどを実施

⑤出土遺物保存管理

事 項	概 要
遺物管理 台帳作成	○作成遺跡 三平Ⅰ遺跡/下田遺跡/中棚Ⅱ遺跡/林宮原遺跡/林中原Ⅰ遺跡/川原湯勝沼遺跡/下湯原遺跡/下芝内出畑遺跡/和田山天神前Ⅱ遺跡/中室田岩城/金井東裏遺跡11区) /中栗須邸前遺跡/大島田Ⅱ遺跡/沼田遺跡/四戸遺跡/条里水田想定地 この台帳をもとに、収蔵庫内の遺物の管理や活用を行っている。

(イ) ググっとぐんまプレデスティネーション企画 受託費：19千円

①群馬古墳フェスタ2019

6月2日(日)に前橋市の日本キャンパック大室公園を会場として実施された「群馬古墳フェスタ2019」では、当事業団で限定各250個のカラフル勾玉、及び焼かない粘土の円筒埴輪づくり(320個)を実施した。

(ウ) 施設管理 受託費：19,068千円

群馬県埋蔵文化財調査センター施設の維持管理

イ 自主事業 事業費：7,735千円

①ぐんま考古学講座(従来の調査遺跡発表会と公開考古学講座を統合して実施)

事 項	期 間	場 所	参加者	講 師
ぐんま考古学 講座	令和元年7月13日(土) 10:20～15:00	前橋テルサ ホール	283人	テーマ 「古墳人、現る 金井東裏遺跡の奇跡」 発表者 杉山秀宏 「榛名山噴火と金井東裏遺跡」 大木紳一郎 「見つかった古墳人を語る」 講演 講師：若狭徹 先生 明治大学准教授 「金井東裏遺跡から読み解く東国古墳時代の実像」

②埋蔵文化財講座

事 項	期 間	場 所	参加者	概 要・テーマ
埋蔵文化財講座		発掘情報館 研修室	合計 350人	「ぐんま発掘玉手箱シリーズ6」 連続5回の講座 対 象：高校生以上 受講料：2,000円/全5回
第1回	令和元年6月9日(日) 13:00~15:00		86人	「教科書を変えた群馬の発掘」 講師：新倉明彦（事業団職員）
第2回	令和元年9月1日(日) 13:00~15:00		69人	「古墳人、現る 金井東裏遺跡の奇跡-復元画の背景を語る-」 講師：桜岡正信（事業団職員）
第3回	令和元年10月6日(日) 13:00~15:00		69人	「古墳時代の須恵器 -須恵器からみた金井東裏遺跡-」 講師：藤野一之(坂戸市教育委員会)
第4回	令和元年12月15日(日) 13:00~15:00		53人	「縄文土器の変化する文様と意味」 講師：石田真（事業団職員）
第5回	令和2年2月9日(日) 13:00~15:00		73人	「複雑に混じり合う縄文土器 -縄文中期前葉の土器について-」 講師：山口逸弘（事業団職員）

③一般普及事業

事 項	期 間	場 所	参加者	概 要・テーマ
県民の日記念事業	令和元年10月28日(月)	発掘情報館	入館者36人	勾玉作り。白、緑を通常価格50円以下の100円で販売。
大人のための冬の古代体験教室	令和元年12月3日(火) ~令和2年2月26日(火)	発掘情報館	52人	トンボ玉作り、銅鏡レプリカ作り、アンギン織り、ミニチュアレプリカについての体験教室を計17回実施した。

④公開普及デー

事 項	期 間	場 所	参加者	概 要・テーマ
公開普及デー	令和元年10月5日(土)	事業団、 発掘情報館	363人	「見る、知る、触れる」と題して各種体験と土器観察会等を実施

⑤発掘調査現地説明会等

遺 跡 名	期 間	場 所	参加者	概 要
植栗中原	令和元年10月17日(木)	東吾妻町 植栗中原遺跡	17人	古墳と中近世掘立柱建物(地元小学生)
棚下込山	令和元年10月23日(水)~ 25日(金)	渋川市 棚下込山遺跡	30人	縄文時代土坑と土器(地元向け)
下里見天神前	令和2年2月27日(木)	高崎市 下里見天神前遺跡	153人	古墳時代から平安時代の竪穴建物(榛名中学、あすなろ学級)
長野原町 町民文化祭 参加	令和元年11月3日(日)	長野原町立 総合運動公園	129人 (勾玉)	八ッ場ダム建設関連。町民文化祭に併せて発掘調査のパネルや遺物の展示。勾玉作り体験学習を実施。

ウ 施設利用状況等

項 目	概 要						
	区 分	件 数			点 数		
		30年度	元年度	比較	30年度	元年度	比較
資料の 利用状況	利 用	38件	54件	16件	9,719点	5,217点	△5,502点
	貸 出	109件	114件	5件	2,792点	1,714点	△1,078点
	体験学習機材貸出	10件	13件	3件	-	-	-

項 目	概 要						
見学・体験学習	区 分	件 数			人 数		
		30年度	元年度	比較	30年度	元年度	比較
	学校等団体	17件	13件	△4件	638人	553人	△85人
	その他団体	35件	19件	△16件	857人	447人	△410人
	その他個人	-	-	-	-	-	-
土器作り等の 指導派遣等	区 分	件 数			生 徒 数		
		30年度	元年度	比較	30年度	元年度	比較
	学校等〔出前授業〕	6件	8件	2件	415人	453人	38人
	一 般〔出前講座〕	12件	3件	△9件	464人	80人	△384人
	図書業務	区 分	件 数			人 数	
30年度	元年度		比較	30年度	元年度	比較	
書籍等貸出	4,076冊	3,451冊	△625冊	1,018人	869人	△149人	
図書受入	2,437冊	2,342冊	△95冊	-	-	-	
保存処理業務	区 分	件 数			件 数		
		30年度	元年度	比較	30年度	元年度	比較
	木器関係の保存処理	596点	725点	129点			
	木器関係のプレパレート作成	0	0	0			
	木器関係の実測	10点	27点	17点			
	木材樹種同定	10点	0	△10点			
	金属器の錆落とし	694点	766点	72点			
	X線写真撮影	1789点	1156点	△633点			
	土層剥取	3件	0	△3件			
	遺物の取り上げ	52件	2件	△50件			
	金属・木・竹製品修復	0	0	0			
	特殊脆弱遺物精査・クリーニング・強化処理	6点	2点	△4点			
	市町村技術援助	7件	5件	△2件			
発掘情報館 業 務	区 分	件 数			件 数		
		30年度	元年度	比較	30年度	元年度	比較
	入 館 者 (年間)	14,020人	11,320人	△2,700人			
	夏休み親子宿題教室(夏休み期間) (再掲)	5,016人	3,746人	△1,270人			
職場体験学習等	0人						整理・発掘情報館業務
情報誌の刊行	「埋文群馬」No.65の刊行 (pdfファイルを事業団ホームページで公開)						
年報の刊行	「年報38」の刊行 (pdfファイルを事業団ホームページで公開)						
研究紀要の刊行	「研究紀要38」の刊行						